

まほろば秦野通信

令和8年9月8日

タイトル	県内初小・中学生が合同で受講 「認知症キッズサポーター養成講座」を開催
When (いつ)	9月14日（月曜日）午後1時20分～午後2時10分
Where (どこで)	秦野市立東小学校3階 図書室 (所在地：秦野市寺山512)
Who (だれが)	実施側：秦野市、東・北地域高齢者支援センター（神戸 佳一（かんべ よしかず） 管理者）、秦野市認知症キャラバン・メイト連絡協議会（東江 文香（あがりえ ふみか） 会長） 受講者：東小学校3年生85人、東中学校2年生95人
What (なにを)	認知症に偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として活動する「認知症サポーター」となるための講座を、東小学校の児童と東中学校の生徒を対象に開催します。
How (どのように)	小・中学生が混在するグループを編成し、クイズや寸劇、グループトークを通して、認知症や認知症の人に関する正しい理解の促進を図ります。中学生はアシスタントティーチャーとして、小学生をサポートします。
Why (なぜ)	認知症サポーター養成講座は、市が取り組む「認知症とともに歩む地域づくり」の一環として平成19年から実施しています。 認知症基本法の施行（令和6年）や、認知症関連による行方不明者が約17,000人いる（警察庁統計）など、社会全体でも深刻な課題があります。市内でも高齢者の行方不明事案が発生している中、地域での見守り網を広げるため、より多くの市民の正しい理解と協力が不可欠です。そのため、未来を担う子どもたちにも平成21年度から小・中学生に対して本事業を実施してきました。「単に知識を学ぶだけでなく、認知症の人の思いを知り、思いやりの心をもち対応ができる子どもたちを育てたい。」この問題意識を教育委員会とも協議し、その趣旨への賛同を得て、今年度は市内6校で認知症キッズサポーター養成講座の実施に至りました。 さらに今回は、中学生は義務教育学校研究の一つとして力を入れている「異年齢交流」を通して学びを深め、自己肯定感の

		向上につなげる場としても位置づけています。中学生がリードし、小学生が学ぶ、つながりの中で、共に認知症に向き合い、地域の一員としての意識を育むことを目指すものです。	
過去の実績		【直近３年間の開催実績】 ※初開催は平成２１年度 令和５年度 小学校１校、中学校２校 令和６年度 小学校１校、中学校１校 令和７年度 小学校２校、中学校１校	
今後の取り組み		継続的な開催を検討します。	
取材 対 応	撮 影	写 真	動 画
		☐ 可 ・ 否	☐ 可 ・ 否
	インタビュー 対応者	よみがな ほんだ みゆき	肩書 学年 クラス等
		氏名 本多 美幸 氏	東・北地域高齢者支援センター（主任ケアマネジャー）
		よみがな ふじや まいこ	肩書 学年 クラス等
		氏名 藤谷 舞子	東中学校２年１組
		よみがな もりかわ ゆうとく	肩書 学年 クラス等
		氏名 森川 結徳	東小学校３年２組
	制限内容や 注意事項	<u>取材希望の場合は、９月１０日（木）までに広報広聴課へご連絡ください。</u>	
問い合わせ （当日の担当者）	高齢介護課 地域包括ケア担当：山口 電話：０４６３（８２）７３９４		